

令和4年度

富山大学 都市デザイン学部 都市・交通デザイン学科

総合型選抜

グループディスカッション A

<評価視点>

グループディスカッションにおける取り組み姿勢・発言内容から、主体性、積極性、協働性を評価します。

注意事項

1. 試験中は監督者の指示に従ってください。指示に従わない場合は不正行為になる事があります。
2. 開始の合図があるまで、この問題冊子を開いてはいけません。
3. この問題冊子には、表紙および白紙を除いて課題用紙が3枚あります。開始の合図があってから確認してください。なお、文字等の印刷不鮮明、ページの落丁・乱丁および汚れ等があった場合には、監督者に申し出てください。
4. ディスカッションの時間は40分間です。
5. トイレ等により部屋から出る場合には、監督者に申し出て指示に従ってください。
6. 他の受験生を不快にさせるような言動は禁止します。
7. この問題冊子は、試験終了後持ち帰ってください。
8. 試験中はマスクを着用してください。なお本人確認（写真照合）のため、監督者より一時的にマスクを外すよう求められることがあります。その際には監督者の指示に従ってください。
9. 試験中、必要に応じて立ち歩いても構いません。ただし、その場合にあっても他の受験生との距離は適切に保ち、ソーシャルディスタンスを確保するよう注意してください。
10. ホワイトボードマーカーとイレーザは、各自に割り当てられたもののみを使用してください。他の受験生との貸し借りや共有は行わないでください。
11. 試験会場の換気のため、適宜、窓やドアを開放することがあります。室温が大きく変化することもありますので、体調に注意してください。

(白紙)





課題用紙

図Aと図Bは、ある人物がある街並みについて2020年の様子と2024年までに実現したい様子を描いたイラストです。この人物は2024年までにどのような街を実現したいと考えたのかについて、図Aと図Bから読み取れる事柄を列挙し、各グループでホワイトボードにまとめなさい。

試験終了時刻まで、より良いまとめになるよう検討を続けなさい。



著作物引用箇所のため非公表

著作物引用箇所のため非公表

令和4年度

富山大学 都市デザイン学部 都市・交通デザイン学科

総合型選抜

グループディスカッション B

<評価視点>

グループディスカッションにおける取り組み姿勢・発言内容から、主体性、積極性、協働性を評価します。

注意事項

1. 試験中は監督者の指示に従ってください。指示に従わない場合は不正行為になる事があります。
2. 開始の合図があるまで、この問題冊子を開いてはいけません。
3. この問題冊子には、表紙および白紙を除いて課題用紙が2枚あります。開始の合図があつてから確認してください。なお、文字等の印刷不鮮明、ページの落丁・乱丁および汚れ等があつた場合には、監督者に申し出てください。
4. ディスカッションの時間は60分間です。
5. トイレ等により部屋から出る場合には、監督者に申し出て指示に従ってください。
6. 他の受験生を不快にさせるような言動は禁止します。
7. この問題冊子は、試験終了後持ち帰ってください。
8. 試験中はマスクを着用してください。なお本人確認(写真照合)のため、監督者より一時的にマスクを外すよう求められることがあります。その際には監督者の指示に従ってください。
9. 試験中、必要に応じて立ち歩いても構いません。ただし、その場合にあつても他の受験生との距離は適切に保ち、ソーシャルディスタンスを確保するよう注意してください。
10. 鉛筆、鉛筆削り、消しゴム、ハサミ、粘着テープ等は、各自に割り当てられたもののみを使用してください。他の受験生との貸し借りや共有は行わないでください。
11. 試験会場の換気のため、適宜、窓やドアを開放することがあります。室温が大きく変化することもありますので、体調に注意してください。

(白紙)

見本

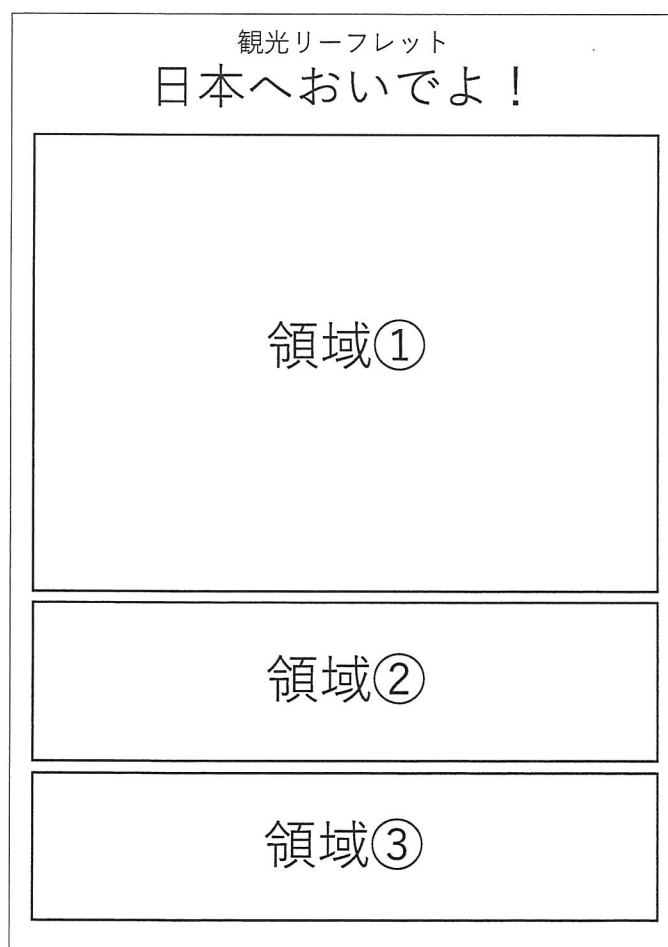
課題用紙 (2枚中の第1枚)

あなたたちのグループには、新型コロナウイルス感染症（COVID-19）で減少した外国からの訪日観光客を取り戻すことを目的に、日本の魅力をアピールする「観光リーフレット」を作成する使命が与えられました。この「観光リーフレット」は2022年の1年間、日本以外のG7加盟国に配布されることが予定されています。G7加盟国とは、フランス、アメリカ、イギリス、ドイツ、日本、イタリア、カナダの7カ国です。

グループ内で協力し、「観光リーフレット」を検討しなさい。また、ディスカッション終了時刻まで改善に努めなさい。

机上に配布された作業用紙を用いて、最終的にグループで1枚の「観光リーフレット」の案を完成させてください。残りの作業用紙は自由に使っても構いませんし、すべてを使う必要もありません。また、配布された物品についても、自由に使っても構いませんし、すべてを使う必要もありません。

ただし、「観光リーフレット」は下図のように3つの領域で構成されており、それぞれの領域には条件があります。



課題用紙 (2枚中の第2枚)

領域①：日本の魅力をアピールするための「観光資源（素材）」

- 条件1：日本の魅力をアピールする観光資源を決定すること。
- 条件2：どのような構図で写真もしくはイラストを配置するか決定すること。
- 条件3：写真もしくはイラストの枚数に制限はないが、少なくとも1つを配置すること。
- 条件4：必ず15文字以内の「キャッチフレーズ」を含めること。
- 条件5：キャッチフレーズは1種類のみとすること。
- 条件6：キャッチフレーズ以外に文字を配置しても構わないが、キャッチフレーズについては、それがキャッチフレーズであることを明確に示すこと。

領域②：日本の魅力を伝えるための「説明文」

- 条件1：具体的な説明文を記述すること。
- 条件2：説明文は150文字以内とすること。

領域③：自由欄

- 条件1：自由欄の使用条件はないので、どのように使用するかはグループで決定すること。

領域全体に関する条件

- 条件1：領域①，領域②，領域③の大きさや場所は変更しないこと。
- 条件2：各領域に配置する文字については、日本語とすること。

観光リーフレット
日本へおいでよ！

見本

